



みなさまこんにちは！10月です！秋です！食欲です！一応ピアノ講師をしているので芸術の秋も外せませんが、今回は食欲の秋のお話です。なぜ食欲の秋といわれるようになったのかは、もちろん実りの秋ですから、収穫するものがたくさんあるというのが一番の理由とと思っていました。しかし、いろいろと調べてみると、秋に食欲が増すという医学的な見解もありました。その一つが、心身の安定につながる脳内の「セロトニン」というホルモンです。いわゆる幸せホルモンというものです。セロトニンは日照時間が短くなると少なくなり、糖質やたんぱく質を摂取する事によって分泌が増えるそうです。そこで、食欲を増してセロトニンを増やし、体を安定させる、という説があるそうです。確かに甘いものを食べると幸せな気分になり心身ともに安定しますね(私は特に)。また、気温が低くなると基礎代謝量がアップします。冬に備えたくさん食べて、エネルギーを補充するというのも理由のひとつにあるそうです。美味しいものが出回るこの季節に食欲が増すのは、自然のなりゆき、ということですね。

さて、今月は食欲の秋に負けないうらいキモノの秋で参ります！素敵なキモノに囲まれて、セロトニンを増やしましょう！！

今年もやり  
ます！

## < 和装館よろづ屋 秋のきもの総力祭 >

毎年恒例となりました、よろづ屋の秋の総力祭。10月に原町店はゆめはっとで、11月にいわき店はラトブにてそれぞれ開催いたします。今回の目玉企画？！として「女将のセレクトコーナー」なるものを企画いたしました。実際に日本橋の間屋に足を運び、女将が一つひとつ吟味した商品が並びます！



当店がいつもお世話になっている呉服問屋は東京日本橋にあります。NHKの「サラメシ」などにも登場し、フジテレビ系のドラマ「競争の番人」でも撮影に使われたそうです。ビルの2階から5階まで、商品がぎっしりと並び、一つ一つ見て回るだけでも相当な時間がかかります。しかし着物大好きな私は、素敵な商品を目の前にして大興奮！もうその楽しさと言ったら、子供が遊園地ではしゃいでいるレベルと一緒に楽しめました。

そんな商品の中から、今回の総力祭のため、お客様のお顔を思い浮かべながら、一品一品セレクトして参りました。逸品の紬から、上質な小紋、名古屋帯など、とにかくお客様におススメしたい素敵着物を揃えてみました！コーディネートもばっちり考え抜いた商品です。もちろんお客様が見てみたい、触ってみたい商品などございましたら遠慮なくおっしゃってください！全力でご用意いたします！ぜひ、10月、11月の「総力祭」お楽しみに！！



はずれなし  
の大抽選会  
あり！！

原町本店 10月6日(木)～8日(土)

南相馬市民文化会館ゆめはっと 多目的ホール  
10時～18時(最終日は16時まで)

いわき店 11月10日(木)～12日(土)

いわきラトブ 6階企画展示ホール  
10時～18時(最終日は16時まで)

- ・そんぴんの紬
- ・岡重コレクション
- ・女将のセレクトコーナー
- ・在庫品スーパーセール
- ・お買い得フォーマル
- ・衿秀小物展
- etc...



# < よろづ屋 きものがたり～岡重～ >

全国の紬や染めの産地のお話や、きものにまつわるあれこれをご紹介しますコーナー  
第22回目は、もの言わぬモノにももの言わすモノづくり

今回は、「デザインの洗練」を伝統的な「京友禅」の世界で追求し続ける「岡重」を特集します。

1855年(安政2年)、創設者岡島卯三郎は染色加工を修めた後、京都美術学校(現・京都市立芸術大学)で教鞭を取るなど道を極めました。彼の長男で二代目の岡島重助は呉服の裏地の染色加工を専門に営み、その優れた技術力で高い評価を得、その時代、京都の友禅業界に名を轟かせました。その後戦争により事業は一時中断されましたが、戦後すぐに国の技術保存工場として発展し、三代目は第一回京都府産業功労者賞を受賞しております。

その長男で現社長の4代目岡島重雄は、友禅染を格段高い視点でとらえ、小紋や更紗柄のおしゃれ提案を中心に老舗として高級呉服をさらに発展させる一方、呉服のみならずファッションアクセサリーの製作など、様々な分野に取り組んでい

ます。(株)岡重専属の図案開発スタッフと本社実験工房(アトリエ)の彩色開発スタッフが創作したデザインは、社内外の専属職人が京都・東京・インドネシア・ミラノで、全行程ハンドメイドで製作を試みるなど、さらなる研究が進んでおります。さらに、京都では本社屋の町家造りを改修保存し、文化的

ギャラリー遊空間Rojiを運営、インドネシアではチャンチン染(バティック更紗)の援助をするなど、日本やアジアの伝統文化工芸の保存、伝承、東西のアート、デザインの交流、発展を常に考えております。友禅という技法で、これからの染め業界の発展と、常に現代のライフスタイルに似合ったものの作りを目指しています。岡重のテキスタイルの数々が、「総力祭」に多数揃います。芸術性と独創性の高い京友禅の世界を「岡重コレクション」でお楽しみください！

女将のお気に入りの染め帯も岡重の更紗柄です！

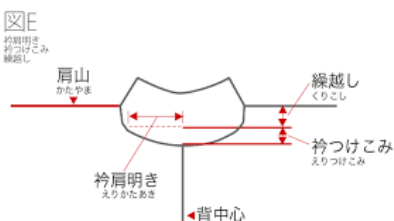


## 知っておきたい寸法のこと

せっかくのお誘いの着物、みなさんご自分の寸法はご存知ですか？仕立てる際や購入時の参考に、寸法のことをもっと知りましょう。

### ～その5 繰越(くりこし)～

繰越しとは、和服の衿を抜いて着るために、衿肩明きを肩山から後ろ身頃の側へずらすこと、またその寸法のことです。男性物、子供物にはありません。直線で構成されている着物の中でも、肩山から後ろ衿にかけてはカーブになっています。後ろ衿の縫い付け部分の下がり具合、繰越しがあるおかげで、衿が抜きやすく、着やすくなっています。その寸法は、以前は5分(およそ2cm)が標準とされていましたが、最近では、8分(3cm)くらいが標準となっています。



着物の格や着方、好みで5分～1寸の間で加減します。また紬などの織りの着物は少なめ、染めの着物は多めなど着物によって繰越を変える方もあります。



今月のおススメ！

しそ漬け梅干し  
1,250円(税込)

今回のおススメ商品は、ずばり「しそ梅干し」です。どうして呉服屋さんなのに「梅干し」???とお思いの方も多数いらっしゃるかと思いますが、実は弊社には「食品事業部」なる部署がありまして、主にスーパーさんなどを対象に食品の卸業も営んでおります。今回ご紹介する「梅干し」は最初当店でお客さまへのプレゼント用にオリジナルで商品化したものでした。それが大変好評で「売ってほしい」との声が多く、販売も始めた頃にコロナが押し寄せました。来店数が少なくなる日々の中、発注する勇気もなく地団駄を踏んでおりましたが、いよいよもって入荷となったわけです！！

さて前置きが長くなりましたが、こちらの「梅干し」なんと塩分3%でもしっかり漬かっているのがウリです！ふっくら果肉の紀州南高梅を低塩分で食べやすいしそ風味に仕上げてあります。ごはんのお供に、お酒のおつまみに、ぜひご賞味いただきたいです！ちょっとした贈り物としても喜ばれること間違いなしです！原町本店、いわき店の両店でお取り扱い中です！

### …若女将のつぶやき…

食欲の秋ですね～。痩せる暇もなく、またまた学びを始めました。着物スタイリストで着付師として芸能界や広告業界で大活躍中の大竹恵理子氏の「大竹塾」に通い始めました。着付けにも様々なジャンルがあって、一般着付から撮影着付、ショー着付、ディスプレイ着付などそれぞれで知識や技術が全く違うもので、準備するものも使う道具も違います。着付の技術をもっと上げたいという思いと、憧れの大竹先生の元で学びたい(ちょっとミーハーな)という思いで始めました。一日中トルソー(マネキンさん)と向き合い、集中して着付をする。とても良い時間です。

